

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成30年11月29日(2018.11.29)

【公開番号】特開2018-163892(P2018-163892A)

【公開日】平成30年10月18日(2018.10.18)

【年通号数】公開・登録公報2018-040

【出願番号】特願2018-139405(P2018-139405)

【国際特許分類】

H 0 1 M 4/505 (2010.01)

H 0 1 M 4/525 (2010.01)

H 0 1 M 4/131 (2010.01)

【F I】

H 0 1 M 4/505

H 0 1 M 4/525

H 0 1 M 4/131

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月20日(2018.9.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

NiとMnと、を含む原料液を調製する工程と、
反応槽内に水と前記原料液とpH調整液とを添加してオーバーフロー法で共沈物を析出させる工程と、
前記共沈物を単離、洗浄する工程とを含み、
前記析出工程において混合液にせん断力をかけることを特徴とする、共沈物の製造方法

【請求項2】

混合液にせん断力をかける方法が、前記混合液中でホモジナイザーを5000～6600rpmで作動させること、または分散機を5000～12000rpmで作動させることである、請求項1に記載の共沈物の製造方法。

【請求項3】

前記混合液に含まれるNi、Mnの比がNi：0.15～0.5であり、Mn：0.33～0.85である請求項1又は2に記載の共沈物の製造方法。

【請求項4】

前記共沈物を析出させる工程において、混合液の温度が20～80である、請求項1～3のいずれか1項に記載の共沈物の製造方法。

【請求項5】

前記共沈物を析出させる工程において、混合液のpHが7～12の範囲である、請求項1～4のいずれか1項に記載の共沈物の製造方法。

【請求項6】

前記共沈物のBETが50～300m²/gである、請求項1～5のいずれか1項に記載の共沈物の製造方法。

【請求項7】

前記共沈物の累積体積分布曲線において50%となる点の粒子径D50が3～15μm

である、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の共沈物の製造方法。